坂本龍馬と下関　関連年表

西　暦（元号）	月	事　件
1835（天保6）年	11月	郷士坂本八平の二男として高知城下に生まれる。
1862（文久2）年	3月	土佐藩を出奔。（脱藩1回目）
	4月	下関に立ち寄る。（推定）
	12月	この頃、勝海舟が提唱する海軍設立に共鳴し、以後海軍塾・海軍操練所の創設に協力。
1863（文久3）年	6月	外国艦隊の長州攻撃に協力する幕府官僚に対して憤り、「日本を今一度せんたく」せんと決意する。
1864（元治元）年	11月	神戸海軍操練所の事実上の閉鎖。 勝の斡旋で、薩摩藩の庇護下に入る。（脱藩2回目）
1865（慶応元）年	5月	薩長同盟締結に向けて活動開始。 太宰府で長府藩士の時田少輔らと会談。
	閏5月	薩長同盟締結の地均しのため下関を訪ね、桂小五郎（木戸）と会談。 桂より薩摩藩名義による武器購入を依頼される。
	9月	西郷から預かった密書を長州へ届けるとともに、長州藩から薩摩藩への米提供を依頼。
	10月	下関に入り、長府藩士印藤聿や下関の大年寄伊藤九三と面談。
	12月	下関に入る。薩長同盟締結に向けて木戸に上京を説得。
1866（慶応2）年	1月	長府藩士三吉慎蔵と上京。薩長同盟締結。 寺田屋事件発生。三吉慎蔵とともに窮地を脱する。
	6月	小倉戦争に参戦。高杉晋作とともに幕府軍と戦う。
	12月	長崎より下関に入る。
1867（慶応3）年	1月	公式に下関を居所にすることが決まる。
	2月	愛妻お龍を下関に呼び、伊藤九三よりその邸宅の一室「自然堂」を借り受けて生活を始める。 この頃、夫婦で伊藤家の歌会に参加。
	3月下旬	下関を離れ、長崎に向かう。
	4月	海援隊長となる。下関に一時帰還。 龍馬の乗船する「いろは丸」が、紀州藩船「明光丸」と衝突、沈没。
	5月	下関に帰還。「いろは丸事件」談判のため、交渉地となった長崎へ向かう。三吉慎蔵・印藤聿・伊藤九三にお龍を託す。
	6月・8月	下関に一時帰還。
	9月	長崎から土佐に向かう途中、下関に立ち寄る。 お龍・下関との永訣。
	11月	「新政府綱領八策」を起草。 京都にて、凶刃に倒れる。 下関で龍馬の帰りを待つお龍は、全身傷だらけでしょんぼりと枕元に立つ龍馬の夢を見たという。

主要な参考文献：
「龍馬の翔けた時代」京都国立博物館
「坂本龍馬と下関」下関市立長府博物館

お問い合せ先　下関市観光振興課　TEL.083-231-1350
〒750-0008 山口県下関市田中町5-6
http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/kanko/